

平成21年度

大学病院情報マネジメント部門連絡会議

抄録集

THEME

連携 — 院内から地域 —



学会期間 平成22年1月21日(木)・22日(金)

開催場所 岡山コンベンションセンター (ママカリフォーラム)

大会長 太田 吉夫 (岡山大学病院 医療情報部)

ご 挨拶

平成 21 年度 大学病院情報マネジメント部門連絡会議

会長 太田 吉夫

(岡山大学病院 医療情報部)

この度「平成 21 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議」を平成 22 年 1 月 21 日(木)、22 日(金)に岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)にて開催させていただくこととなりました。

多くの大学病院では、種々の問題を抱えながらも、オーダエントリや診療記録の電子化によって、効率的な医療の提供に努力しています。今回の連絡会議では、「連携ー院内から地域ー」をテーマとさせていただきました。病院情報システムは、病院内の各職種、各部門を結び、連携を通じて機能的に医療を提供する役割を担っています。また、これらの機能を病院内から外に拡げ、地域との連携を強化して行くことが今後の大きな課題であると思われま

す。大学病院情報マネジメント部門連絡会議は、学会とは異なり、各部門、各職種の関係者が一同に会し率直に意見の交換を行う場です。暖かい雰囲気の中でなごやかに有用な情報のやり取りができることを願っています。

企画セッションとしては、「連携ー院内から地域ー」、「ICT を利用した地域医療連携支援」、「医薬品安全」、「診療録管理と医療の質・安全」、「電子カルテ時代の看護情報」などのテーマで企画しました。部長会セッションでは「保険診療と病院情報システム」を、情報交換会では例年のベンダー毎のセッションに加えて「歯科システム」について情報交換を行うセッションを設けました。

全国の情報マネジメント部門関係者の皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成21年度 大学病院情報マネジメント部門連絡会議 日程表

1月20日(水) 国立大学病院医療情報・企画関連部長会

	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
ザ マグリット 6階 (ハウストンルーム)						16:00~16:45 幹事会	17:00~18:00 部長会		
ザ マグリット 2階 (マグリットホール)							18:00~19:30 懇親会		

1月21日(木) 平成21年度大学病院 情報マネジメント部門連絡会議 <1日目>

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
A会場 3階コンベンション ホール		9:55~10:00 開会式	10:00~11:30 A-1 連携 一院内から地域へ	11:45~12:45 ランチョン グローバルヘルスコン サルディングジャパン	13:00~15:00 A-2 国立大学病院マネジメン トセッション	15:05~16:35 A-3 地域連携 セッション	16:40~17:40 A-4 CDISC標準 について					
B会場 3階コンベンション ホール		10:00~11:30 B-1 薬剤 セッション	11:45~12:45 ランチョン マイクロソフト	13:00~14:30 B-2 診療情報管理 セッション	14:35~16:05 B-3 看護 セッション	16:10~17:40 B-4 部長会 セッション						
C会場 2階セッション ホール		10:00~11:30 C-1 情報交換会 (歯科)	11:45~12:45 ランチョン 富士通	13:00~14:00 C-2 情報交換会 (IBM)	14:10~15:10 C-3 情報交換会 (富士通)	15:20~16:20 C-4 情報交換会 (NEC)	16:30~17:30 C-5 情報交換会 (東芝住電)					
P会場 1階イベントホール		9:30~18:20 ポスター展示 企業展示 (立合い 17:50~18:20)									立 合 い	
全日空 ホテル 曲水の間											18:30~20:00 懇親会	
D会場 406会議室							15:00~16:00 スイーツ セミナー エービシー ジャパン	16:30~17:30 診療情報管 理士 連絡会				
E会場 407会議室				12:00~14:00 UMIN 小委員会 (薬剤)	14:00~15:30 UMIN 小委員会 (事務)	15:30~16:30 UMIN 小委員会 (幹事会)						

1月22日(金) 平成21年度大学病院 情報マネジメント部門連絡会議 <2日目>

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
AB会場 3階コンベンション ホール		9:30~10:30 AB-1 基調講演	10:30~12:00 AB-2 総会	12:00~12:30 AB-3 UMIN 総会								
P会場 1階イベントホール		9:00~12:30 ポスター展示 企業展示										
D会場 406会議室				12:30~13:30 常置 委員会								

プログラム

■ AB-1 基調講演

日 時： 1月22日（金） 9:30～10:30

会 場： AB会場 3階コンベンションホール

講 演： 文部科学省 高等教育局医学教育課大学病院支援室 室長補佐 島居 剛志
「大学附属病院における諸問題について」

■ A-1 連携 ―院内から地域―

日 時： 1月21日（木） 10:00～11:30

会 場： A会場 3階コンベンションホール

座 長： 岡山大学病院

合地 明

演 者： 国立がんセンター中央病院

島井 健一郎

東京都立広尾病院

山本 康仁

黒部市民病院

今田 光一

近年の医療制度改革の流れの中で『連携』が重視されていることは周知の通りであります。院内においても他職種間連携によるチーム医療（院内感染管理、栄養管理、褥創管理、周術期管理など）、地域においては画像連携、地域連携バスなどをはじめとする地域連携カルテ構想が本格化しつつあります。

このような背景の中で今回の大学病院マネジメント部門連絡会議においても『連携―院内から地域―』をテーマとさせていただきました。

これらの連携は診療報酬の側面においても評価されつつあります。一方で、診療情報の電子化が進められる中、連携の基軸となる情報の共有は実現しつつありますが実際の運用面においては必ずしも有機的に活用できていないのが現実であります。

今回、このような現状の連携のあり方を先進的に取り組んでおられます一般病院のエキスパートの方々に具体的な事例のご講演いただき、大学病院における連携のあり方の一助になればと考え、本セッションを企画させていただきました。

■ A-2 国立大学病院マネジメントセッション

日 時： 1月21日（木） 13:00～15:00

会 場： A会場 3階コンベンションホール

座 長： 東京大学 副理事(兼)医学部附属病院

櫛山 博

平成16年度からはじまった第一期中期計画期間が間もなく終了し、平成22年度からの第二期中期計画期間を控え、国立大学病院運営は新たな局面を迎える。

新たな局面を乗り切るには優れたアイデアと実行力が欠かせない。そして、アイデア・実行力は教職員が日々実践している仕事のなかにある。

本セッションでは、全国国立大学病院で実践されている様々な経営改善・サービス改善等優れた取り組みをプレゼンテーション形式およびポスター形式にて紹介し、意見交換・情報交換を行うことで、大学病院運営における新たなヒントを探ることを目的とする。

■ A-3 地域連携セッション

「ICTを利用した地域医療連携支援」

日時：1月21日（木）15：05～16：35

会場：A会場 3階コンベンションホール

座長：長崎大学病院

本多 正幸

岡山大学病院

岡田 宏基

演者：千葉大学医学部附属病院

高林 克日己

鳥取大学医学部附属病院

桑田 成規

長崎大学病院

松本 武浩

筑波大学附属病院

大原 信

今回のテーマである「連携」を地域医療連携の側面から考えるセッションを企画した。地域医療連携にICTを用いる際には、下記のような場面が考えられる。

- ① 診療予約の電子化
- ② 診療情報提供書授受の電子化
- ③ 医療機関と院外薬局との診療情報共有化
- ④ 放射線画像授受の電子化
- ⑤ 在宅医療を支援するネットワークシステム
- ⑥ 電子カルテのITネットワーク化

これらのうち、①については、診療予約依頼をFAXで行い、それを電子カルテの予約オーダーに反映させる運用は多くの医療機関でなされている。②FAXやWebで送信された診療情報提供書を、電子カルテに取り込むことで、紙の診療情報提供書をスキャナで取り込み保存する手間が省け、また場合によっては、患者受診前に提供書に目を通すことも可能となる。これは既に幾つかの地域で実用化されているが、岡山大学病院でも1年余り前から運用している。③については、院外薬剤師が患者の診療情報を参照する必要性、および、ジェネリック医薬品を用いた場合の担当医へのフィードバックの必要性等が想定され、幾つかのシステムが提唱されているが、本格運用にはまだ少し時間を要しそうである。④患者紹介の際に、現在ではCDやDVDで放射線画像を持参することが増加してきているが、K-MIXなどの画像伝送システムを用いて送付された画像を、院内の画像サーバに取り込む方式も今後は普及すると考えられる。この際は、DICOMヘッダにある紹介元医療機関の患者IDを、自院の患者IDに書き換えて保存する必要があるが、これは専用ソフトウェアで解決することができ、岡山大学病院でも実施準備を進めている。⑤かかりつけ医－訪問看護師－訪問介護担当者間で、医療情報をICTを用いて共有化するシステムは、実用可能レベルにあるものが既に幾つか提唱されているが、システム導入のための費用負担、訪問するスタッフのコンピュータリテラシー等の要因で、本格的な実用化は少し先になりそうである。⑥について、今回は4題の演題をいただいた。病院間で診療情報を共有するメリットは計り知れないものがあるが、使用する病院情報システムが異なっている際にどのように共有化を図るか、セキュリティは万全か、また、どの程度の診療情報をオープンにするかなど課題も多い。そのような課題に、それぞれの地域でどのように取り組まれているかをご発表いただき、活発な議論をいただきたい。

■ A-4 CDISC標準について

「CDISC標準による臨床・疫学研究データ収集説明会」

日 時：1月21日（木）16：40～17：40

会 場：A会場 3階コンベンションホール

座 長：東京大学医学部附属病院

木内 貴弘

CDISC標準は、米国で治験の個別症例データ電子申請のために当初開発された治験データ交換規約である。その後、申請だけではなく、医療機関、臨床検査会社からのデータ収集、電子研究計画書等の規格が策定され、治験電子化全般をカバーするようになっている。CDISC標準は、治験専用と誤解されることが多いが、学術研究として実施される臨床・疫学研究の電子化のためにそのまま活用ができる。

本説明会では、CDISC標準の概要、CDISC標準を用いた研究プロジェクトの概要を紹介するとともに、電子カルテからCDISC標準への情報連携の方法（特に今後取り組む際の範囲など）について解説を行う。

■ B-1 薬剤セッション

「医薬品安全に関わる処方せん記載内容の変更と医薬品情報データベース」

日 時：1月21日（木）10：00～11：30

会 場：B会場 3階コンベンションホール

座 長：鹿児島大学医学部・歯学部附属病院

下堂 菌権洋

演 者：東京医科歯科大学歯学部附属病院

土屋 文人

■ B-2 診療情報管理セッション

「大学病院における診療録管理について考える

—診療録記載に関するオーディットと標準化に向けた取組み—

日 時：1月21日（木）13：00～14：30

会 場：B会場 3階コンベンションホール

座 長：東京大学医学部附属病院

谷川 眞希子

福井大学医学部附属病院

吉野 孝博

演 者：群馬大学医学部附属病院

岡村 信一

大阪大学医学部附属病院

上田 郁奈代

岡山大学病院

富保 啓子

大阪市立大学医学部附属病院

山田 ひとみ

診療録の記載に関する教育は、各大学によって大きく異なり、統一された明確な指針や標準化されたガイドラインは存在しない。医学教育の場である大学病院では、民間病院と比較して医師の在籍数は多く、またその入れ替わりは激しい。そのため個々の医師に対して診療録管理の立場から記載に関する教育や指導を継続して行うことは難しく、診療録の質や精度は民間病院に比べて優るものとは言い難い。医師（研修医）への診療

録の記載に関する教育は、医師の生涯や医療機関の質に大きく影響するものであるため、正しい診療録の記載方法に対する教育が行われるべきである。そのため教育機関である大学病院では、診療録記載に関するオーデイトの実施を継続して行い、更に記載方法の標準化を図るためにガイドライン等の作成に率先して取り組むことが重要と考える。

本セッションでは、診療情報管理に関する個々の医療機関での取り組み、標準化や医療安全の観点からの取り組みについて報告を行い、大学病院における診療録管理の重要性やその必要性について考える。

■ B-3 看護セッション

「電子カルテ時代の看護情報・記録の持つ意味

—記録は看護ケアに役立っているのか—

日 時：1月21日（木）14：35～16：05

会 場：B会場 3階コンベンションホール

座 長：広島大学病院

杉村 美由紀

岡山大学病院

古米 照恵

演 者：北海道大学病院

佐藤 ひとみ

岐阜大学医学部附属病院

廣瀬 泰子

神戸大学医学部附属病院

市村 尚子

鳥取大学医学部附属病院

渡邊 仁美

カルテを電子化することにより、多くの医療関係者が患者情報を共有できる環境が整ってきました。しかしメリットも多くある反面「電子化された看護記録は患者の全体像が見えない、断片的である、個別性がない」という声も聞かれます。看護記録が電子化されても看護実践・実行されたケアの質を反映するものであるということ是不変であると思います。そこで、患者の個別性がみえる記録、その時々々の看護ケアがみえる記録、患者・家族・他職種とも共有できる記録のあり方、看護の質を高める記録等について議論いたします。

■ B-4 部長会セッション

「保険診療と病院情報システム」

日 時：1月21日（木）16：10～17：40

会 場：B会場 3階コンベンションホール

座 長：群馬大学医学部附属病院

酒巻 哲夫

演 者：岡山大学病院

合地 明

群馬大学医学部附属病院

小出 利一

大学病院の保険診療は特定共同指導でチェックされる。先方の指定した問題レセプトと診療記録を突号し診療報酬請求の根拠を逐一確認する作業で、指導日に根拠を示せなければ「保険診療が適切に行われたとみなせない」として、「1年の全診療を自主点検して返還せよ」と裁断される。職員が保険診療を遵守していたか否かではなく、記録や資料で示せたかが問われるので、膨大な事後処理と返還額を前に割り切れない思いが残る。

この数年、電子カルテの導入病院が指摘された事項を見ると、病名の未整理、DPCコーディングの診療記録上の根拠、検査・管理加算等の診療記録上の根拠などである。これらは従来からよく指摘された事項であるが、電子カルテではシステムを構築する病院の問題と捉えられる点で指導側の要望が厳しい。紙であれば運用上の一部の乱れで済んだことさえもだ。

今回は、特定共同指導に多くの経験を持つ2人の講師、岡山大学医療情報部の合地明副部長と群馬大学医療サービス課の小出利一課長に、保険診療の説明要件を満たすシステムとして現状のどこに問題があるか提起して頂く。また、解決に向けてのWGを提案する。

■ C-1 情報交換会(歯科)

「病院内の歯科システムのあり方 歩みと将来性本当に必要なもの？」

日 時：1月21日（木）10：00～11：30

会 場：C会場 2階レセプションホール

座 長：岡山大学病院

高柴 正悟

矯正歯科森本

森本 徳明

演 者：東北大学病院

笠原 紳

株式会社富士通中国システムズ

甲野 義久

株式会社岡山情報処理センター

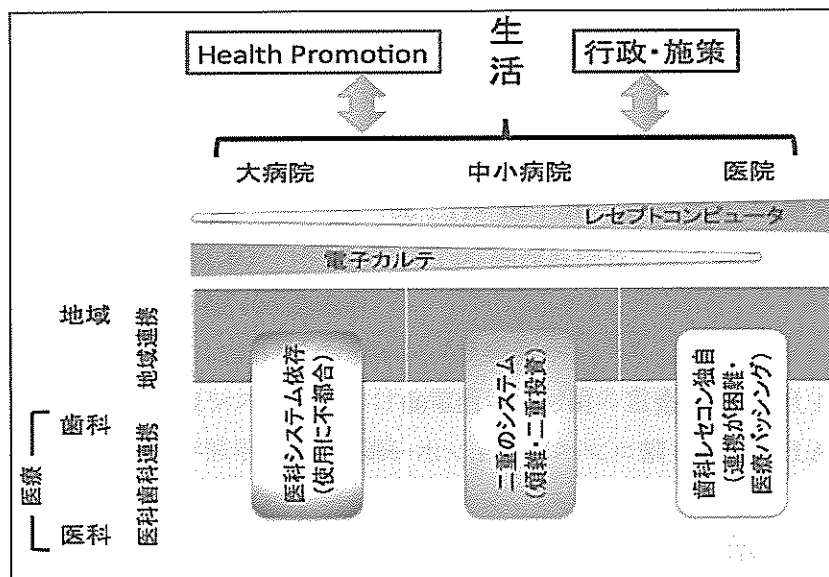
有安 浩司

病診連携などの地域における医療連携に対応できるシステムが求められている。これには、病院だけでなく受け手の（歯科）医院のシステムについての変更も必要となってくる。

今回のセッションでは、今回の会議の主題である「連携 一院内から地域」に沿って、座長から「病院内の歯科システムのあり方」の考えを発信した後に、3人の演者の観点で病院内歯科システムの「歩みと将来性」を示していただき、「連携」に本当に必

要なものなのかを、あるいは必要なものを皆様と一緒に考えたい。

それぞれの立場からの発表の後、医療連携の中で歯科システムが今後目指すべき方向を会場内の皆様とともに考え、今後の歯科システムの開発・運用の一助としたい。



■ C2～5 情報交換会

「外から来たデータ、どうしていますか？」

日 時：1月21日（木） ※各交換会時間は次のとおり

会 場：C会場 2階レセプションホール

総 括：浜松医科大学附属病院

木村 通男

【企画意図】

フィルムレス環境の普及、調剤情報（特にジェネリック）の送付、持参薬情報、地域連携など、外から情報が入ってくる状況が増えており、スムーズな運用にはいろいろな工夫が必要となっている。

今回はこの件の対応について、ベンダの情報提供などを交えながら、情報の交換を行ないたい。

【ディスカッションポイント】

- ・画像はPACSに取り込むか、取り込まないか（動画などはどう対応しているか）。
- ・調剤薬局からのジェネリック調剤情報はどのような形で届き、どうしているか。
- ・持参薬情報はどのように医師に提示しているか。
- ・紹介状、サマリーなどはどう扱っているか。
- ・それぞれについて、IDはどのように、どこでつけているか。
- ・来た書類、CD等はその後どうしているか。
- ・取り込み不能であった場合、どう対処しているか。
- ・さらには、外部から来た情報の見落としの責を問われた場合を考え、どこまで責任を持って見ることにしているか。

- C-2 情報交換会:IBM 13:00~14:00
座長:高知大学医学部附属医学情報センター 奥原 義保
- C-3 情報交換会:富士通 14:10~15:10
座長:山口大学医学部附属病院 井上 裕二
岡山大学病院 合地 明
- C-4 情報交換会:NEC 15:20~16:20
座長:徳島大学病院 森口 博基
- C-5 情報交換会:東芝住電 16:30~17:30
座長:島根大学医学部附属病院 花田 英輔

■ 総会

日時:1月22日(金) 10:30~12:00
会場:AB会場 3階コンベンションホール

■ ポスター展示

日時:1月21日(木) 9:30~18:20 立合い17:50~18:20
1月22日(金) 9:00~12:30
会場:P会場 1階イベントホール
※同会場内にインターネットコーナーを併設します

■ ランチョン/スイーツセミナー

ランチョンセミナー1:大学病院にとっての戦略的経営とは?:

メイヨークリニックとスタンフォード大学の経験に学ぶ

日時:1月21日(木) 11:45~12:45
会場:A会場 3階コンベンションホール
演者:米国グローバルヘルス研究所 アキよしかわ
共催:株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

ランチョンセミナー2:医療機関におけるITガバナンスガイドラインについて

日時:1月21日(木) 11:45~12:45
会場:B会場 3階コンベンションホール
座長:マイクロソフト株式会社 加藤 寛二
演者:聖路加国際病院 嶋田 元
倉敷中央病院 藤川 敏行
済生会熊本病院 松下 龍之介
共催:マイクロソフト株式会社

ランチョンセミナー3：医療の本質からみた電子カルテ運用の再考

日 時：1月21日（木）11：45～12：45

会 場：C会場 2階レセプションホール

座 長：富士通株式会社

福田 茂

演 者：国立成育医療センター

山野辺 裕二

共 催：富士通株式会社

スイーツセミナー

日 時：1月21日（木）15：00～16：00

会 場：D会場 4階406会議室

演 題：①医療ITにおける物理インフラ整備

②医療情報システムにおける電源保護対策の重要性

演 者：①島根大学医学部附属病院

花田 英輔

②㈱エーピーシー・ジャパン

有本 一

共 催：株式会社エーピーシー・ジャパン

■ 各種委員会

医療情報部長会・幹事会	1月20日（水）16：00～16：45	ザ マグリット6階
医療情報・企画関連部長会	1月20日（水）17：00～18：00	ザ マグリット6階
大学病院診療情報管理士連絡会	1月21日（木）16：30～17：30	406会議室
UMIN小委員会（薬剤）	1月21日（木）12：00～14：00	407会議室
UMIN小委員会（事務）	1月21日（木）14：00～15：30	407会議室
UMIN小委員会（幹事会）	1月21日（木）15：30～16：30	407会議室
UMIN総会	1月22日（金）12：00～12：30	AB会場
常置委員会	1月22日（金）12：30～13：30	406会議室

※ザ マグリットは学会場とは別施設です。（タクシー約5～7分）

■ 企業展示

日 時：1月21日（木）9：30～18：20

1月22日（金）9：00～12：30

会 場：P会場 1階イベントホール

※同会場内にインターネットコーナーを併設します